

授業科目名	経営学特講（職業としての会計）（経営学部・専門科目）（Accounting as a Vocation）	必修の区分	※
単位数	2.0	開講年次	
講師名	渡邊 泰宏	所属	会計研究科
オフィスワーク・場所	原則として講義後、但し各講師の都合による。	連絡先	
講義目的及び到達目標	本講義の目的は、会計を天職とするプロフェッショナルの話聞き、社会において会計に関する知見を生かして、会計を職業として活躍されている事例に学ぶことにある。職業としての会計について広く興味を持ってもらうことを到達目標とする。		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容</p> <p>本講義は、会計を広く捉えて、経理、財務の仕事から、税務、監査に関連する仕事、さらにはディスクロージャーや、経営、ガバナンスといった世界で、会計に関する知見を基礎として活躍する、会計を天職とするプロフェッショナルの話聞く授業である。</p> <p>II 授業計画</p> <p>講義は、大部分が外部講師により行われる。講師の都合により授業計画を変更することがある。授業計画の確定版は、授業開始時に公表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業としての会計とはなにか 2. 会社の経理担当者が語る職業としての会計 3. 会社の財務担当者が語る職業としての会計 4. 会社のIR担当者が語る職業としての会計 5. 会社の経営者が語る職業としての会計 6. 会社の監査役が語る職業としての会計 7. 企業の監査に従事する公認会計士が語る職業としての会計 8. 自治体、非営利会計に従事する公認会計士が語る職業としての会計 9. 監査法人パートナー（公認会計士）が語る職業としての会計 10. コンサルタントが語る職業としての会計 11. 研究者が語る職業としての会計 12. 税務に従事する税理士が語る職業としての会計 13. 税理士法人パートナー（税理士）が語る職業としての会計 14. 国税局元職員が語る職業としての会計 15. まとめ（職業としての会計） 16. 評価 		
テキスト	指定しない。		
参考文献	必要に応じて適宜指示する。		
成績評価の基準	原則として毎回、講義内容についての理解を確かめるためにレポートを課し、提出されたレポートの得点に基づき評価を行う。		
履修上の注意・履修要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 履修要件は特にありません。興味がある方はどなたでも履修してください。 2. 講師は、本学教員のみでなく実務家等、外部講師をお招きする予定のため、当然のことだが、学生として聴講する際のマナーをわきまえる必要がある。マナーを守ることができない学生は評価に反映するとともに厳しく対応する。 3. 出席し、レポートを提出することが必要である。例えば講義を40%超欠席した場合、その時点で評点が60点未満となる。また、当然のことだが、レポートはたんに提出すればよいわけではなく、講義内容を理解し適切に記載されているかどうかにより採点する。 		
地域に関する学修	該当しない。		
備考	本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓会から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金に基づいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。（複数の講師によるリレー講義となります。）		
教員コメント			